

第22回「議員と語りかい」報告書

霧島市商工会 (No.1)

開催日	平成29年2月1日(水) 15時00分 ~ 17時10分		
開催場所	霧島市商工会隼人本所 2階会議室		
団体名	霧島市商工会	参加人員	11人 (男11人:女0人)
出席議員	池田 綱雄、厚地 覺、阿多 己清、木野田 誠、中馬 幹雄、有村 隆志 植山 利博、蔵原 勇		
役割分担	班 長 (池田 綱雄) 副班長 (厚地 覺) 記録係 (阿多 己清)		
テーマ及び具体的な内容	<ul style="list-style-type: none">・霧島市商工会の現状と課題について・地域商工業活性化策について・霧島市利子補給制度の補助率2%の固定化について・平成29年度のプレミアム付商品券事業の実施について・その他要望事項等		
感想	6つの商工会が合併、合併当時は1433人の会員数。現在の会員数は1404人で微減の状態。後継者不足で廃業等がある中、会員増強に懸命に努力されている様子が伺えた。商工会への補助額も年々減少し、合併直前と比較すれば半分以下となっている。年々にわたる補助金削減等により、各地の会館等の維持管理をはじめ、事業運営等に支障をきたしている状況等が確認できた。委員外議員からの発言もあり、とても有意義な意見交換等ができた。一部には、要望事項もあり、聞き置くだけのものもあった。		
反省点	特になし		
次回に向けての改善点	特になし		

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での主な意見等

- ◆会員数は、合併時1,433人で現在1,404人の微減の状態。最高意思決定機関として、総会制を採用。1,000人を超えるとほとんど総代制であるが、全国的にもとても珍しいことだ。1人1票の権利を持たせている。本人出席20%が条件となるが、現在28%の出席率だ。
- ◆商工会への補助金については、合併時22,196千円だったが、平成28年度は、10,430千円と47%減となっている。いろいろ頑張っ、会員や事業実績等は県内トップの位置にあるが補助金は県内でも低い状況だ。毎年要望しているが、年々減少し、どこまで引き下げられるのか、このままでは運営等が大変厳しくなる。経営健全化もあるだろうが、異常な状況だと考えている。
- ◇農政関係の補助とは格段の差があり、不公平な感じがする。こんな減少とは知らなかった。毎年要望書を提出してもらっているが、陳情書なら議会でも審議ができるし提言等もできるので、今後陳情書を提出してほしい。
- ◇補助金減により経営難となっているとのことだが、具体的にはどのような影響があるか。
- ◆施設等の維持管理費や経営支援などの事業が厳しくなっている。
- ◆各地でいろいろな事業を実施している。これまで地域活性化にも補助金を出していたが、現在は、出していない。霧島や日当山は自力開催している。極端な人口減の横川や溝辺の祭りには補助している。商工会主催は2地区だけとなった。
- ◇商工会議所などのような事業活動はできないのか。
- ◆会議所とは違って、商工会は、法律等で収益事業が禁止されているので、会議所が実施している駐車場事業などの自主的な活動ができない。
- ◇商工会議所と商工会はどちらも加入できるのか。
- ◆会議所は基本的には国分が中心であり、商工会は6町のエリアである。国分の方々は法定会員にはなれないが、特別会員となる。また医者や宗教法人などは定款等で任意に加入できるようになっている。現在では、法定会員が1,265名、定款会員22名、特別会員117名である。
- ◇国分での祭りや花火大会で多額の経費をかけて実施しているがどう考えるか。
- ◆旧4町は商工会員も減り、青年部も減少しているが、地域活性化のために、青年部や女性部は一生懸命だ。もう少し中山間地域にも目を向けてほしい。国分の祭りや花火の経費の一部でも回してもらえれば。50万円でも地域は元気が出る。オール霧島としての一考を期待したい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆横川では町から5万円の補助をもらい、駅伝大会を実施していたが、合併で補助がなくなった。現在は有志の寄付で実施している。とても盛会だ。

◆利子補給制度の補助率、2%の固定化はできないか。

◇市当局を確認したところ、固定化については難しいとのことだった。基本は1%であるが、現在特例措置で2%の運用をしている。10年近く続けているので、当初予算を期待したい。

◇28年度は、実質借入の関係で大きな影響があるかと思う。平成27年度は68,357千円の実績だが半分まで落ち込んでいる。借り換えについては、どのように考えるか。

◆経営困難の中で、借り入れるものである。以前のように借入額に対しての利子補給に戻してほしい。

◇そこらのことについては、原理原則に関わることであり、行政当局との調整が必要だと思う。

◆プレミアム商品券事業は、99.72%の換金率で、商工会独自の5%キャッシュバックもしており、かなりの経済効果があった。横川での換金額が横川での販売額を上回ったことが大変うれしかった。地元で消費しようとする気持ちの表れだと思う。平成29年度も実施してほしい。

◇市当局を確認したところ、現段階では実施は考えていないが、今後経済効果が必要となった場合は検討するとのことだ。ただ、これまではすべて補正予算対応なので、今後検討していくことと思う。

◇昨年加盟店が456店、前回より商品券取扱い加盟店が100店超増加の要因は何か。

◆昨年は20%付きだったため、これまでなかったコンビニやレストランなど、多くの加入があった。商品券事業の実施のために、入会をして、終了したら退会という例もある。

◇プレミアム商品券事業での課題や実施での問題はないか。

◆20%プレミアム付きはとても大きいので、10%程度とし、できるだけ多くの人に販売すべき。それと販売方法を検討すべきかと思う。昨年は真夏の中での販売となったため、買うために長時間並んでの販売はかなり怒られたりした。大変申し訳なかった。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇はがきなどを活用して事前申し込みさせるなどすればいいかと思う。市報のはがきなら1世帯での申込みとなるので、広く公平に購入できると思う。

◆自治会未加入者への対応もあるので、はがきでもいろいろ問題があると思う。

◇大型店では販売できないようにしたらどうか。

◆小規模店を守るために大型店では使用できないようにと提言したことがある。現在は11枚のうち、3枚は小規模店でしか使えないようにしている。

◇小規模事業者の継承を行う施策については、国が行っているが、事業継承、後継者育成など市が行う支援策、具体的な考えは、商工会と検討はしていないか。

◆具体的な検討はしていない。廃業が一番問題だ。人口減少の中で、周辺部では商売ができない現状だ。

◇会館などについては、どのような状況か。

◆各商工会館も老朽化してきている。隼人本所は、個室がなく相談室が1つもない。経営相談もままならない状況だ。また、特に横川支所がひどく、外階段やトイレも使用できない。現在公共施設等の活用を要望している。各施設、雨漏りや壁が落ちたりしており、最低限の補修をしながら使用している。

◆山間部の活性化のために、福山から霧島、横川、牧園、市を一周できるような基幹道路の整備が必要と考えている。観光産業道路みたいな整備構想を商工会青年部では議論している。国立公園もあるし、満喫プロジェクトも計画されている。経済面や人口減対策にもなると思う。霧島の観光が一番の活性化にもなるので、商工団体、経済界、行政一緒になって、オール霧島で取り組めるような大きなプロジェクトをつくってほしい。さらに今後議論していきたい。(要望)

◇現在の市道や県道、場合によっては国道を活用拡大するという意味か。

◆そうである。

◇霧島神宮駅に観光客が降りた際、観光案内所がないので困る。幸い駅のすぐ近くに商工会館があるので、商工会の方も支援をお願いしたい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇隼人駅東地区の区画整理を進めているが、現在の駅前には、どのような期待をしているか。

◆駅東地区は、必然と賑わいができると思うが、以前の駅前通り会がさびれていくと心配している。鹿児島神宮を活用した、門前町としてのまちづくりができればと考えている。神宮をイメージするような鳥居、食べ物屋、土産品店が神宮まで続く門前町ができればいい。

◇駅前の再建はどのように考えているか。

◆後継者がいなくなり駅前が活性化していない。塩満書店など空き店舗が多くなった。相続人もわからないものもある。福岡の行橋市を視察したが、駅も高架となっており、すごく良かった。ここを参考にできればと思う。

◆横川では街路灯を平成4年に120基整備したが、現在107基ある。廃業等で13基は維持管理ができなくなった。防犯の役割もあることから、13基のうち、中心街の10基は市で管理してもらっている。今後はますます管理できなくなるので、市で維持管理してほしい。

◇防犯灯の管理については一般質問でもされている。今後議会でも議論していく。

◆日当山地区の西郷どんの家の件であるが、大河ドラマの放映もある。地域活性化のためにも必要なものだ。3月議会で予算化されていくと思うので、市全体の取り組みとして支援してほしい。(要望)

◇青年部の活動への情熱、地域熱をととても感じた。商工会の必要性、地域活性化の推進のために、さらには補助金の削減の問題、事務所の老朽化に伴う問題など、どういった手立てが必要か、議会でも議論していきたい。

意見交換での主な意見等